

平成 27 年度 大阪府立八尾支援学校 第 3 回学校協議会報告

平成 28 年 2 月 23 日(火)

□日時 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 午前 10 時～12 時

□場所 大阪府立八尾支援学校 多目的室 3

□テーマ

- ・平成 27 年度学校教育自己診断結果
- ・平成 27 年度学校評価 (案)
- ・平成 28 年度学校経営計画及び自己評価 (案)
- ・居住地校交流
- ・第 3 回 授業アンケート
- ・第 2 回 学校協議会報告

□学校協議会委員

乾 伊津子	(大阪市職業リハビリテーションセンター 所長)
岡崎 裕子	(大阪大谷大学 学長補佐 教育学部 教授)
御前 敬	(八尾市障害福祉課 課長)
西原 直美	(本校 P T A 会長)
山田 紅美	(東大阪子ども家庭センター 地域相談課 総括) 当日欠席
吉田 裕子	(東大阪市療育センター 第一はばたき園 園長)

□学校協議会事務局

古川 綾子	(教頭 小・高)	渋谷 雅宏	(教頭 中)
小林 俊雄	(事務長)	荒木 智恵子	(首席)
井川 忠都	(首席)	横山 眞二	(首席)
山本 耕平	(首席)	山田 美也子	(指導教諭)
谷 浩美	(高等部主事)		
米澤 歩	(総務部)	田代 恵子	(総務部)

□協議会 内容

1 学校長挨拶

3 学期にインフルエンザの発症がありましたが、感染拡大防止に努め大きく学級閉鎖等に  
いたらず終息しました。マラソン大会も無事終了しました。先週高等部の茶話会も終わ  
りました。2 月 20 日に新成人を祝う集いが行われ、H25 年度の卒業生 100 名程度の参加があ  
りました。来年度から数年をかけ管理棟・作業棟の大規模改造が行われます。人権教育の

研修に力を入れ、日々意識を高めて来年度に生かすようにします。

## 2 平成 27 年度学校教育自己診断結果について

★荒木首席より（別冊資料 27 年度学校教育自己診断 報告）

提出率 保護者は前回から 5%上がった。次年度も引き続き協力を呼びかける。

### 【達成度に関する結果・分析】

「①生徒向け」・・・否定的意見の 3 割を超えるものがなくなった。

「②保護者向け」・・・28 項目中 27 項目が達成基準に達した。「防災の取り組み」がまだ浸透していないことが考えられる。保護者へ周知していくことが課題。

「③教職員向け」・・・「施設面」「労働衛生面」改善が必要。「労働条件」で否定的意見が 3 割を大きく超える結果となった。

保護者と教職員の数値に開きのあるものについても差を埋めるべく改善を図っていく。

記述回答・要望については部会、学年会等で検討し保護者に回答する。

### ★提言

合理的配慮がさらに求められる。教職員に法律の周知が必要。「伝える」ことが大切。

自己診断がわかりやすくなり、努力されているのがわかる。

進路・キャリア教育という言葉が浸透させることが大切。

卒業後の受け皿がものすごく変化しているが、学校では変化を感じにくい。

就労の法的拘束力も変化し、軽度より重度の人を採用するなど、企業に変化があるが、学校には伝わらず、実感できていないと思う。

キャリア教育、外からの情報を敏感にキャッチしないと障害の特性・実態にあったところにつなぐのが難しくなる。

子どもが大きくなった時に必要な力が保護者に伝わっていない。

自己診断のまとめは大切なので、変更した点、対応した点をもっとアピールしてもよいのではないかと思う。

達成度の分析だけでなく、否定的な意見が多いものは改善して欲しい。

## 3 平成 27 年度学校評価（案）について

★校長より（P17）

WISC-IV 検査を年 3 回実施。

授業アンケートを計 2 回実施。

「視覚的支援に関するアンケート」を全学部で実施し冊子を作成。学校 HP 掲載。

校長・教頭の授業観察 2 回、改善シートを交付。

首席 4 人の役割分担を明確にし、PT 等に主担当、副担当を決めて取組。

校務分掌組織を改編し、3 部門 6 分掌にする。

「キャリア教育プログラム」作成育成支援チーム事業にエントリーし、実施。  
高等学校からのニーズによる研修講師の派遣、巡回相談。  
夏季の公開研修では 200 人出席。  
参加体験型人権研修。  
大災害時、防災マニュアルを新たに作成。備蓄品検討。  
ミドル・アップダウンマネジメントモデル案 ミドル育成 来年度は子どもたちに人権教育を行いたい。

★准校長より (P20 P21)

教員から教材報告を研究部で集約し、お互いに活用できるように校内 LAN 上で教材をストック。

職業コース見直しに着手。

学部内進路ワークショップを 2 回実施。

11 月大阪市職業リハビリテーションセンターを見学を高 1・2 生徒 19 名参加。

東大阪市就業・生活支援センターの指導員による授業（ビジネスマナー）。

保護者向け施設・作業所見学会を各学年で実施。進路説明会 5 回。企業説明会 4 回。訓練校見学会 1 回。

フロンティアコースの内容を考え外に目を向けて行く。教育課程を見直し外部実習を多く。進路開拓。保護者と相談。進路情報を保護者にひろめる。

夏の公開研修で ICT 活用研修を実施。タブレット端末を活用した自主研修を開催。

人権週間期間中に各学部集会実施。人権ポスターを制作・掲示。「あいさつ運動」推進。

★井川首席より (別冊資料 学校防災マニュアル)

学校防災マニュアル (震度 5 弱以上の地震) 来年度から実施。

学校災害対策本部の設置、組織図、役割分担。

地震発生時の基本的対応。保護者への引渡し、学校待機。教職員の非常配備態勢。

緊急引渡しカード (学校保管)

★横山首席より (別冊資料 学校防災マニュアル)

防災備蓄一覧 防災備蓄食一覧 買い揃えていく

個人備蓄は個人袋に水 500ml・個人的に必要な物品を入れ毎学期末に入れ替え。

予備薬 3 日分個人のをかばんの中に入れておく。

★准校長より (別冊資料)

防災セミナー PTA 防災学習会を開催した。

## ★提言

防災のプリントは配るだけでなく、説明会を開いて欲しい。

### 4 平成 28 年度学校経営計画及び自己評価（案）について

#### ★校長より（P22）

「めざす学校像」は3か年計画なので前年と変わっていないが、中期的目標は校長のビジョンをより具現化する方向で修正を加えている。

本年度の取り組み内容及び自己評価

「個別の教育支援計画」「合理的配慮に関するアンケート」を実施し、課題の改善に努める。

「キャリア教育プログラム」学習指導のねらいに入れ込む。

ライフスキルを保護者に調査し頑張り表を作成。

中河内地域の推進校としてセンター的機能を発揮するため、「地域支援室」を設置  
教材教具や学習指導案の紹介、ライブラリー化。

人権尊重の教育の具体的、計画的実施。人権週間の各部取り組み実施。

小学部 1～3年生の2便下校を1日ずつ増やす。

中学部 グループ学習ⅠⅡの名称を「国語」「数学」「社理」に変更し1時間増やす。

#### ★准校長より（P25）

個々の生徒の障がいの実態に対応して、学習内容・指導・支援の方針をより明確にした授業を推進するため、学習グループごとの担当者会議を定期的に行う。

キャリア能力に関する評価測定のための指標を検討。

タブレット端末等の活用自主的研修。

公職選挙法改正による選挙権の年齢引き下げに伴い、生徒の政治的教養をはぐくむための教育を、障がいの状況に応じて検討・推進する。

### 5 居住地校交流について（P10）

#### ★荒木首席より

小12名・中6名の18名実施 学年や通常学級との交流等広げていきたい

基本的に教員が付き添っている。質疑応答や教材、進路、なやみ相談等地域貢献にもなっている。

### 6 第3回 授業アンケートについて（P11～P14）

#### ★古川教頭より

授業参観は午前中に行っている。説明会や作品展と同時におこなっており参加者は多いが、アンケートの回収は2学期より少ない。もっと呼びかける必要があった。

1学期は参観期間を3日間設け、学校生活全般を見ていただけるようになった。来年度も続

けていくが、ランニング・体育の授業もあるので車での来校は難しい。

2・3学期は参観の日時を決めてアンケートを実施している。個別記述のご意見欄は授業に入っている教員全員で回覧し共有している。今後の授業に活かしていく。

小学部は1・2学期の参観の時とは教科を変えて行った。

アンケートの回収率も90%を超え、多くの協力をいただいている。

全ての項目で97%以上の肯定的ご意見をいただいた上に、教員の指導・支援にかんする3項目すべてにおいて100%の肯定的意見をいただいた。しかし3名の方からの厳しいご意見があったことを忘れず、高評価に甘んじることなく専門性を高めて取り組んでいきたい。

高等部も回収率がかなり下がった。呼びかけの強化と工夫が必要である。

全ての項目において94%以上の肯定的ご意見をいただいたが、7名の方からの厳しいご意見もあり、真摯に受け止めたい。

#### ★洪川教頭より

全体の回収率は83.2%と前回とほぼ同じであった。「1 授業内容への興味関心」が前回に引き続き「1 と思う」が50パーセント台にとどまった。一方「4 教材・教具の工夫」は前回に引き続き「1 と思う」が70%台と高い評価をいただいた。授業において工夫はしているものの、それがすべての生徒にとって魅力あるものにつながっていない。多数の生徒に興味を持ってもらうことは難しいことだが、引き続き教員には頑張ってもらいたい。「5 授業で頑張りを認める」も前回に引き続き「1 と思う」が70%台であった。生徒の長所に着眼し指導していることを認めてもらいたいと思う。

## 7 第2回 学校協議会報告 (P4~P9)

#### ★古川教頭より

資料 P4~P9 と HP にも載せている。

## 8 准校長挨拶

たくさんのご報告がありました。また、委員の皆様から多くのご意見・ご提言をいただきました。まず、4月から施行される障害者差別解消法について教職員にしっかり周知する必要があるとのご意見がありました。また、障がい者の就業について、状況は大きく変化しており学校の外にもっと目を向けていく必要があるとのご意見がありました。また、学校教育自己診断などのアンケートでは肯定的意見も大事だが、否定的意見をしっかりと取り上げて改善していくようにとのご指摘がありました。これらのご意見・ご提言を次年度に反映していきたいと思っております。本日はありがとうございました。

## 9 閉会 諸連絡

乾先生任期満了で退任されます。H22年から6年間ありがとうございました。

乾先生より挨拶

障害者の働く力が変わってきて、充実してきました。  
働く力、ライフスキルを教育の力で引き上げて欲しいです。